

神奈川県考古資料集成

1

弥生式土器

CORPUS OF RELICS FOUND IN KANAGAWA PREFECTURE

1

YAYOI-TYPE POTTERY

神奈川県立博物館

KANAGAWA PREFECTURAL MUSEUM

Naka-ku Yokohama Japan

1969

考古資料集成 I について

本編では、考古部門の展示の基礎となる地域研究の推進と県内考古資料の実態を把握する目的で、昭和42年度から5カ年計画で、主として実測と撮影により各種資料の記録・集成を開始した。

本資料集成は収録した資料のうち、弥生式土器160例を選んで編集したものである。種々の事情のため、やむを得ず掲載できなかった資料も多いが、それらについては、いずれ方法を考えてたい。

この集成が考古学研究上、いささかでも役立つならば幸いである。

刊行にあたり、御協力を賜わった方々に厚くお礼申し上げる。

目 次

図版1 壺形土器	中期前半	P. 4
図版2 壺形土器	中期中葉・後半	P. 4
図版3 壺形土器	中期中葉 (東京湾沿岸地域)	P. 5
図版4 壺形土器	後期 (東京湾沿岸地域)	P. 5
図版5 壺形土器	中期後半・後期 (相模湾沿岸地域)	P. 6
図版6 壺形土器	後期 (相模湾沿岸地域および東京湾沿岸地域出土の東海地方的土器)	P. 7
図版7 大口壺形土器 無頸壺形土器	後期	P. 8
図版8 鉢形土器	中期	P. 9
図版9 鉢形土器	後期 (東京湾沿岸地域)	P. 9
図版10 鉢形土器	後期	P. 10
図版11 浅鉢形土器 高坏形土器 器台その他	中期・後期	P. 11
図版12 人面土器	中期・後期 (東京湾沿岸地域)	P. 11
神奈川県下の弥生式土器		P. 3
採録資料関係文献目録		P. 12

凡 例

1. 図版は原則として器形別、地域別に編成し、資料の配列はできるだけ年代順にした。
2. 縮尺は特殊な例を除き、6分の1とした。
3. 文献は文献番号で処理し、地名表の末尾に一括した。編成は年代順である。
4. 所有者、保管者名は記録当時のものを記載した。
5. 一括出土した資料は、当初の資料の備考欄に共伴した資料の図版番号、資料番号を記載し、以下は*印を付けて当初の資料の番号を記載した。
6. 個々の資料の解説は省略した。なお、地名表2～3Pに、県下の弥生式土器の概要を記した。
7. 採録した土器は県下の弥生文化を理解するうえで重要な資料および未紹介の資料が主になっている。日本考古学協会弥生式土器文化総合研究特別委員会刊行の弥生式土器集成前編2、同本編2に収録、紹介された資料はなるべく除き、未紹介の資料とその後出土した資料に重点を置いた。

神奈川県下の弥生式土器

神 沢 勇 一

神奈川県下においては、弥生式土器の様相は三浦半島を含めた東京湾沿岸地域と相模湾沿岸地域とは多分に異なっている。東京湾沿岸地域の土器は南関東文化圏に属し、孤立的、停滞的な性格がよく、弥生時代後期に全国的に波及する櫛目文土器の影響を受けず、独自の発展をとげる。それに対して相模湾沿岸地域の土器は当初から東海地方との関連を示し、後期には櫛目文の盛行や東海地方西部の土器の流入、影響がみられるなど、きわめて対照的である。このことは、二つの文化圏の存在を意味するものであり、本地方の弥生文化を理解するうえで注意しなければならない。^(註 1)

両地域における弥生文化成立の時期は中期初頭で、弥生時代は中期・後期の2時期に限られ、その間、編年表に示すように、それぞれ6型式の土器が認められる。各型式の内容については既に述べたことがあるので、本稿では土器の推移に重点を置いて説明することにした。^(註 2)

中 期

相模湾沿岸地域における当初の土器は堂山式土器である(図版1-4・5、8-3)。最近、秦野盆地から西志賀Ⅱ式土器の地方化した土器が発見されたが、移入品であって、主体的な存在ではない。堂山式土器に対応する東京湾沿岸地域の土器は、地域的にはやや適切性を欠くが、三カ木式土器と考えられる(図版1-1~3、8-1~2)。なお、須和田式土器をそれに当てると言う見解もある。これらの土器は母体となった縄文式土器の伝統をつよく残し、壺形土器と鉢形土器の分離が明瞭でない。両者の最も大きな相違は煮沸形態としての鉢形土器で、堂山式土器では粗製、三カ木式土器では壺形土器にちかい装飾を加えた半精製とも言うべきもので、本質的な差がある。この相違は中期中葉の土器にも引き継がれている(図版8-5~6)が、相模湾沿岸地域の中里式土器には完形品がないので図示できない。

中期後半になると、壺形土器と鉢形土器は明瞭に分離し、鉢形土器は粗製に統一される。この時期には、後期に一般化する台付き鉢形土器も現われ(図版8-11)、壺形土器の丹形、器形の分化等もある程度進み、弥生式土器らしい形が整ってくる。相模湾沿岸地域では、以後、壺形土器の胴下半部に器体形成のさいの接合部が破くなって残り、いちぢく形の器形とともに、製作手法において東海地方の土器と一致した特徴をもつ。この種の器形は、東京湾沿岸地域にも、ときおり例がある(図版2-6~7、4-2)。

中期の土器は、縄文式土器を母体として成立してから、弥生式土器としての本格的な形を備えるに至るまでの過程を示すと見えよう。

後 期

中期後半には2地域の土器に比較的近似がみられるが、後期の土器は、それぞれ地域性をつよめながら漸移的な発展をとげ、きわめて対照的なあり方をみせている。器形の分化は、いずれも後期前半の段階で、ほぼ完成すると言ってよく、高冨形土器、無類壺形土器、ごく大型の壺形土器などが現われる。

相模湾沿岸地域では櫛目文土器の影響により、縄文とともに各種の櫛目文で土器を装飾するようになるが(図版5-6・11・13・17)、東京湾沿岸地域では、いぜんとして縄文の装飾が盛行し、櫛目施文はみられず、顕著な差が存在する(図版4-2・11、7-1~2・4・11~13・20、11-14)。他地域の土器の流入も後期における著しい特徴である。相模湾沿岸地域では、とくに後期中葉から後半にかけて、伊勢湾沿岸地方の土器または模倣品、さらに何等かの影響がみられる土器が目立った存在を示し(図版6-1・8・9・16)、その様相は隣接する東海地方東部とも異なっており、海路による直接的な伝播が考えられる。このような土器は東京湾沿岸地域にも、まれに発見される(図版6-11~13)。一方、東京湾沿岸地域には、多摩丘陵を以て北関東地方西部を中心とする樽式土器の系統の土器の分布が及び(図版7-5~7)、また北関東地方東部の二軒屋式土器などの影響を受けたい文様も、一部にみられる(図版4-1)。しかし、相模湾沿岸地域の場合と比較すれば、その影響ははるかに少ない。

後期前半から後半までの各型式は、漸移的な変遷をしながら、器形、文様が簡素化し、後期後半には齊一化の傾向をみせてくるが、2地域の土器の対立的な様相は、次の土器にまで続いている。

注

- (1) 神沢勇一「相模湾沿岸地域における弥生式土器の様相について」神奈川県立博物館研究報告(人文)1巻1号、1968年、神奈川県立博物館。
- (2) 神沢勇一「弥生文化の発展と地域性・関東」日本の考古学Ⅲ・弥生時代、1966年、河出書房新社。
- (3) 杉原荘介「南関東地方」弥生式土器集成本編2、日本考古学協会、1968年。

神奈川県下における弥生式土器編年

時 期	地 域		相 模 湾 沿 岸 (南関東西部)	東 京 湾 沿 岸 (南関東東部)
	中 期	前 半		堂 山
中 葉			中 里	須 和 田
後 半			小 口 原	宮 の 台
後 期	前 半		赤 羽 根	久 ケ 原
	中 葉		千 代	弥 生 町
	後 半		譚 訪 の 前	前 野 町

出 土 地 名 表

図版	資料 番号	出 土 地 名	所 有 者	文献番号	備 考
1	1	津久井郡 津久井町 三ツ木	県立津久井高校	7・12・24	* 小 pit 状遺構内出土。 PL 1-2・3, PL 8-1・2 と 共伴。底面に木炭痕がある。
	2	"	"	"	* PL 1-1 参照。
	3	"	"	"	* PL 1-1 参照。
	4	秦野市 平沢 道明	加藤孝三	23	* 小 pit 状遺構内出土。 PL 1-5, PL 8-3 と共 伴。
	5	"	"	"	* PL 1-4 参照。
	6	三浦市 城ヶ島 遊ヶ崎	神奈川県立博物館	8	底面に網代痕がある。
	7	秦野市 平沢 北開戸	和田一好	2・4・15	* PL 1-8・9, PL 2-3・2・ 3, PL 8-4 と共伴。 底面に網代痕がある。
	8	"	国学院大学	"	* PL 1-7 参照。 底面に網代痕がある。
	9	"	"	2・4	* PL 1-7 参照。
2	1	秦野市 平沢 北開戸	国学院大学	2	* PL 1-4 参照。 底面に網代痕がある。
	2	"	"	2	* PL 1-4 参照。
	3	"	"	2	* PL 1-4 参照。
	4	横浜市 港北区 北八朔町 谷津田原	横浜市役所建築局	6・24	
	5	"	"	"	
	6	"	"	6	
	7	"	"	"	
	8	"	"	"	
	9	横浜市 港北区 鶴原町 西富士塚	武相考古館		縦定する標目文は6本。
	10	"	"	3	* 竪穴住居址内出土。 PL 2-11 と共伴。
	11	"	"	3・24	* PL 2-10 参照。

国版 資料 番号	出 土 地 名	所 有 者 名	文献番号	備 考	
3	横浜市 中区 東台	武 相 考 古 館	4	肩部に3本の櫛目による□形の文様がある。	
	2	〃	〃	底面に木葉痕がある。	
	3	〃	〃		
	4	〃	〃	底面に木葉痕がある。	
	5	横浜市 港北区 篠原町 表谷	〃		
	6	〃	〃	底面に木葉痕がある。	
	7	横浜市 磯子区 杉田町 東漸寺	神奈川県立博物館		
	8	横浜市 港北区 篠原町 表谷	武 相 考 古 館		
	9	〃	〃	肩部文様は布の押捺による。	
	10	横浜市 港北区 大熊町 東原	都田中学校		
	11	横浜市 鶴見区 上末吉町 上台	神奈川県立博物館		
	12	横浜市 磯子区 岡村町 横浜学園内	神奈川県立博物館		
	13	横浜市 港北区 日吉本町 慶応大学敷地内	神奈川県立博物館		
	14	横浜市 港北区 池辺町	高 津 真 亮	24	
	15	横浜市 港北区 日吉町	神奈川県立博物館		
	16	横浜賀市 小矢部 ひる畑	〃		* 竪穴住居址内出土。 P L 3-17・18・19と共伴。
	17	〃	〃		* P L 3-16 参照。 破損部分を研磨して再生。
	18	〃	〃	24	* P L 3-16 参照。
	19	〃	〃	24	* P L 3-16 参照。
4	横浜賀市 長井町 北原	横浜賀市博物館	9	文様は網目文。	
	三浦市 初声町 三戸	浜 田 勲 太			
	横浜賀市 佐野町 枇杷山	明 治 大 学	1	pit 状遺構内出土。	

図版	資料 番号	出 土 地 名	所 有 者 保 管 者	文献番号	備 考
	4	横浜市 鶴見区 上末吉町 縄山	神奈川県立博物館	21	* 竪穴住居址内出土。 PL 9-7, PL 11-10と共 伴。
	5	横浜市 港北区 節岡町 天神山	石 川 武 靖		
	6	横浜市 鶴見区 上末吉町 江戸山	神奈川県立博物館	24	
	7	川崎市 野川 影向寺	日 本 大 学	13	* 溝状遺構内出土。PL 4-8, PL 7-5・6, PL 9-8と 共伴。
	8	"	"	"	* PL 4-7 参照。 胴部に焼成後1孔を穿孔。
	9	横浜市 鶴見区 獅子谷町 ニッ池	明 治 大 学	22	* 竪穴住居址内出土。 PL 7-1・4, PL 9-9・ 10, PL 10-5, PL 11- 11と共伴。
	10	"	"	"	* 竪穴住居址内出土。 PL 4-11と共伴。
	11	"	"	"	* PL 4-10 参照。
	12	横浜市 神奈川区 浦島ヶ丘	本 町 小 学 校	16・24	
5	1	小田原市 多古 白山神社境内	久 野 小 学 校		底面に木葉痕がある。
	2	足柄下郡 箱根町 大原	明 星 中 学 校		
	3	茅ヶ崎市 中赤羽根	庄 司 隆 文		
	4	高座郡 寒川町 才戸	庄 司 隆 文		
	5	茅ヶ崎市 中赤羽根	"		
	6	"	"		
	7	小田原市 府川 諏訪の前	杉 山 博 久	18	
	8	"	"	"	
	9	小田原市 千代	"		
	10	小田原市 板橋	長 谷 川		
	11	高座郡 寒川町 行安寺裏	池 谷 龍 治		口縁直下は樹歯刺突文。
	12	中郡 大磯町	大磯町教育委員会		

図版	資料 番号	出 土 地 名	所 有 者 保 管 者	文献番号	備 考
	13	小田原市 千代			
	14	藤沢市 小糸	牛 王 重 徳		* V字形溝状遺構内出土。 P L 5-15・16と共件。
	15	"	"		* P L 5-14 参照。
	16	"	"		* P L 5-14 参照。
	17	高座郡 寒川町 岡田 大塚	寒川 小 学 校		
	18	中郡 大磯町 国府	大磯町教育委員会		
	19	中郡 伊勢原町 坪の内 大匠山	永 井 参 治		
6	1	茅ヶ崎市 門蔵 ドンドン塚付近	庄 司 隆 玄		肩部に矢尻形の貼付文がある。
	2	厚木市 林 厚木東高校敷地	厚 木 高 校		
	3	小田原市 千代 旧避病院前	長 谷 川 銀 蔵		
	4	"	神奈川県立博物館		
	5	"	"		
	6	小田原市 府川 諏訪の前	杉 山 博 久	18	
	7	高座郡 海老名町 区分尼寺	海老名温故館		
	8	小田原市 千代 旧避病院前	(神奈川県立博物館)		
	9	小田原市 府川 諏訪の前	杉 山 博 久	18	
	10	藤沢市 稻荷 引地橋	藤沢市教育委員会	17	* 塚穴住居址内出土。 P L 6-16 と共件。
	11	横須賀市 長井町 市立病院分院前	赤 星 直 忠		* 塚穴住居址内出土。 P L 11-6 を併出。
	12	横浜市 港北区 佐江戸 杉崎	高 津 真 亮		口縁部内部の羽状文は寛描き
	13	横浜市 港北区 小机町 白郷中学校敷地内	神奈川県立博物館	20	
	14	茅ヶ崎市 中赤羽根	庄 司 隆 玄		
	15	横浜市 鶴見区 上末吉町 上台	"		台付壺形土器。

国版	資料 番号	出 土 地 名	所 有 者 管 者	文献番号	備 考
	16	藤沢市 稲荷 引地脇	藤沢市教育委員会	17	* PL 6-10 参照。
7	1	横浜市 鶴見区 獅子谷町 ニツ池	明 治 大 学	22	* PL 4-9 参照。
	2	〃	〃	22	
	3	三浦市 南下池町 見沙門B洞窟	赤 星 直 忠	5	
	4	横浜市 鶴見区 獅子谷町 ニツ池	明 治 大 学	22	* PL 4-9 参照。
	5	川崎市 野川 影向寺	日 本 大 学	13	* PL 4-7 参照。
	6	〃	〃	〃	* PL 4-7 参照。
	7	横浜市 南区 永田町 東台	武 相 考 古 館	24	
	8	横浜市 鶴見区 獅子谷町 ニツ池	明 治 大 学	22	竪穴住居址内出土。
	9	〃	〃	22	竪穴住居址内出土。
	10	中部 大磯町 桜の馬場	大磯町教育委員会		
	11	横浜市 鶴見区 つつじヶ丘			
	12	横浜市 鶴見区 獅子谷町 ニツ池	明 治 大 学	22	
	13	横浜市 鶴見区 上末吉町 上台	神奈川県立博物館		
	14	横浜市 南区 六川町 引越トンネル上	神奈川県立博物館		
	15	横浜市 港北区 榎原町 表谷	武 相 考 古 館		
	16	横浜市 鶴見区 上末吉町 江戸山	池 谷 健 治		
	17	茅ヶ崎市 中赤羽根	庄 司 隆 玄		
	18	〃	〃		
	19	横浜市 港北区 師岡町 天神山	石 川 武 靖		
8	1	津久井郡 津久井町 三ッ木	津 久 井 高 校	7・12・24	* PL 1-1 参照。 底面に銅代貨がある。
	2	〃	〃	7・12	* PL 1-1 参照。 底面に木葉痕がある。

図版	資料 番号	出 土 地 名	所 有 者 保 管 者	文献番号	備 考
	3	奈野市 平沢 通明	加 藤 孝 三	23	底面に網代痕を残す。 * PL 1-4 参照。
	4	奈野市 平沢 北開戸	国 学 院 大 学	2	* PL 1-7 参照。
	5	三浦市 城ヶ島 遊ヶ崎	浜 田 勲 太	8・24	底面に木炭痕がある。
	6		神奈川県立博物館	〃	底面に網代痕がある。
	7	横浜市 鶴見区 下末吉町 不老台	神奈川県立博物館		底面に木炭痕がある。
	8	横浜市 港北区 北八朔町 谷津田原	横浜市役所建築局	6・24	
	9	横浜市 港北区 藤原町 西富士塚	武 相 考 古 館	24	
	10	〃	〃	〃	底面に網代痕(?)がある。
	11	〃	〃		
	12	茅ヶ崎市 火葬場付近	庄 司 隆 玄		
	13	小田原市 府川 諏訪の前	杉 山 博 久	18	
	14	茅ヶ崎市 堤	小 野 正 敏		口縁上端に緒状体の正痕がある。
9	1	横浜市 鶴見区 上末吉町 上台	池 谷 健 治		
	2	三浦市 南下浦町 毘沙門B 洞窟	赤 星 直 忠	5	
	3	〃	〃	〃	
	4	横須賀市 佐野町 けえね台	横須賀市博物館	11	
	5	〃	〃	〃	
	6	〃	〃	〃	
	7	横浜市 鶴見区 上末吉町 姥山	神奈川県立博物館	21	* PL 4-4 参照。
	8	川崎市 野川 影向寺	日 本 大 学	13	* PL 4-7 参照。
	9	横浜市 鶴見区 獅子谷町 ニツ池	明 治 大 学	22	* PL 4-9 参照。
	10	〃	〃	〃	* PL 4-9 参照。
	11	〃	〃	〃	竪穴住居址内出土。

図版	資料 番号	出 土 地 名	所 有 者 保 管 者	文献番号	備 考
	12	横浜市 鶴見区 獅子谷町 ニッ池	明 治 大 学	22	竪穴住居址内出土。
	13	横浜市 港北区 篠原町 表谷			
10	1	横浜市 鶴見区 獅子谷町 ニッ池	明 治 大 学	22	* 竪穴住居址内出土。 P L 11-12 と共存。
	2	横浜市 鶴見区 上末吉町 梶山	小 林 幸 雄		
	3	横須賀市 長井 市立病院分院前	赤 星 直 忠		竪穴住居址内出土。
	4	横浜市 鶴見区 上末吉町 上台	池 谷 健 治		焼成後底部に穿孔。
	5	横浜市 鶴見区 獅子谷町 ニッ池	明 治 大 学	22	* P L 4-9 参照。
	6	横浜市 鶴見区 上末吉町 上台	池 谷 健 治		
	7	"	"		
	8	茅ヶ崎市 中赤羽根	庄 司 隆 文		
	9	"	"		
	10	足柄下郡 箱根町 仙石原 大原	武 相 考 古 館		
	11	"	"		
	12	小田原市 久野 中宿	立 木 望 隆		
	13	小田原市 府川 諏訪の前	杉 山 博 久	18	
	14	"	"	"	
11	1	足柄上部 山北町 堂山	鈴木 新 太 郎	10	
	2	津久井郡 相模湖町 鼠坂	神奈川県立博物館	24	
	3	足柄下郡 箱根町 仙石原 大原	明星 中 学 校		
	4	横浜市 港北区 篠原町 西宮七塚	武 相 考 古 館		
	5	小田原市 府川 諏訪の前	杉 山 博 久	18	
	6	横須賀市 長井町 市立病院分院前	神奈川県立博物館		* P L 6-11 参照。
	7	横浜市 鶴見区 獅子谷町 ニッ池	明 治 大 学	22	竪穴住居址内出土。

図版	資料番号	出 土 地 名	所 有 者 保 管 者	文献番号	備 考
	8	横浜市 鶴見区 獅子谷町 ニツ池	明 治 大 学	22	竪穴住居址内出土。
	9	横須賀市 鶴居 烏ヶ崎洞窟	赤 星 直 忠		
	10	横浜市 鶴見区 上末吉町 硯山	神奈川県立博物館	21	* P L 4-4 参照。
	11	横浜市 鶴見区 獅子谷町 ニツ池	明 治 大 学	22	* P L 4-9 参照。
	12	"	"	22	* P L 10-1 参照。
	13	横浜市 神奈川区 浦島ヶ丘	本 町 小 学 校	24	
	14	鎌倉市 栗舟山	神奈川県立博物館		
	15	高座郡 寒川町 岡田 大塚	寒 川 小 学 校		脚部穿孔3個。
	16	小田原市 中里 大同毛織工場敷地内	第 五 中 学 校		脚部穿孔4個。
	17	高座郡 寒川町 岡田 大塚	寒 川 小 学 校		脚部穿孔3個。
	18	茅ヶ崎市 下寺尾	庄 司 隆 文		丹彩?
	19	小田原市 千代 旧避病院前	神奈川県立博物館		脚部穿孔3個。
	20	高座郡 寒川町 岡田 大塚	寒 川 小 学 校		脚部穿孔3個。
	21	高座郡 寒川町 岡田 丸山	三 留 甚 太 郎		脚部穿孔3個。
	22	高座郡 寒川町 岡田 大塚	寒 川 小 学 校		脚部穿孔8個。
	23	横浜市 神奈川区 高島台	神奈川県立博物館		脚部穿孔3個。
	24	横浜市 神奈川区 松ヶ丘	神奈川県立博物館		2個1組の穿孔2個所。
	25	横浜市 鶴見区 獅子谷町 ニツ池	明 治 大 学	22	竪穴住居址内出土。
12	1	横浜市 鶴見区 上末吉町 上台	森 豊 吉	14・24	
	2	横須賀市 小矢部町 ひる畑	神奈川県立博物館	19	

採録資料関係文献

(年代順)

文献 番号	著者	題名	掲載誌名	発行年
1	川上 久夫	「相模秩杷山出土の弥生式土器」	考古学集刊第一册 東京考古学会	1948 (昭和23)年
2	亀井 正道	「相模平沢出土の弥生式土器に就いて」	上代文化25輯 上代文化研究会	1955 (昭和30)年
3	石野 英	「横浜市港北区篠原町富士塚遺跡の概要」	武相文化96号 武相文化協会	1957 (昭和32)年
4	小林行雄・杉原荘介編	「弥生式土器集成(前編)」2	弥生式土器文化総合研究特別委員会 日本考古学協会	1958 (昭和33)年
5	神沢 勇一	「三浦市毘沙門B割窟出土の弥生式土器」	横須賀市博物館研究報告2号 横須賀市博物館	1958 (昭和33)年
6	神沢 勇一	「横浜市谷津田原出土の弥生式土器について」	貝塚87号	1959 (昭和34)年
7	神沢 勇一	「津久井町三カ木出土の弥生式土器」	神奈川県文化財調査報告26集 神奈川県教育委員会	1960 (昭和35)年
8	神沢勇一・浜田勘太	「三浦市誠ヶ島出土の弥生式土器」	横須賀市博物館研究報告5号 横須賀市博物館	1961 (昭和36)年
9	神沢 勇一	「横須賀市長井町北原出土の弥生式土器」	横須賀市博物館研究報告(人文科学)5号 横須賀市博物館	1961 (昭和36)年
10	神沢 勇一	「足柄上郡山北町堂山出土の弥生式土器」	神奈川県文化財調査報告27集 神奈川県教育委員会	1962 (昭和37)年
11	神沢 勇一	「横須賀市けえね台出土の弥生式土器」	横須賀市博物館研究報告7号 横須賀市博物館	1963 (昭和38)年
12	神沢 勇一	「神奈川県三カ木遺跡出土の弥生式土器」	考古学集刊2巻1号 東京考古学会	1963 (昭和38)年
13	山内照二・沢田大多郎・橋口尚武	「川崎市彭向寺裏貝塚調査報告」	日本大学考古通信6号 日本大学考古学会	1963(昭和38)年
14	坂詰秀一・関 俊彦	「弥生後期の人面土器について」	考古学雑誌48巻1号 考古学会	1963 (昭和38)年
15	亀井 正道	「日本原史美術」3 杉原荘介編〈図版解説〉	講談社	1964 (昭和39)年
16	神沢 勇一	「日本原史美術」3 杉原荘介編〈図版解説〉	講談社	1964 (昭和39)年
17	服部清近・寺田兼方	「箱崎台遺跡調査概報」	藤沢市文化財調査報告書2集 藤沢市教育委員会	1965 (昭和40)年
18	杉山 博久	「神奈川県小田原市府用・諏訪の前遺跡調査略報」		1967 (昭和42)年
19	神沢 勇一	「神奈川県ひる畑遺跡出土の人面土器」	考古学集刊3巻3号 東京考古学会	1967 (昭和42)年
20	神沢 勇一	「東海地方系の弥生式土器」	神奈川県立博物館だより3 神奈川県立博物館	1968 (昭和43)年
21	神沢 勇一	「屍山遺跡(1)」	神奈川県立博物館発掘調査報告書 神奈川県立博物館	1968 (昭和43)年
22	杉原荘介・小林三郎・井上裕弘	「神奈川県二ツ池遺跡における弥生時代後期の集落」	考古学集刊4巻2号 東京考古学会	1968 (昭和43)年
23	杉山 博久	「秦野市平沢出土の弥生式土器について」		1968 (昭和43)年
24	小林行雄・杉原荘介編	「弥生式土器集成(本編)」2	弥生式土器文化総合研究特別委員会 日本考古学協会	1968 (昭和43)年

昭和44年3月20日印刷

昭和44年3月25日発行

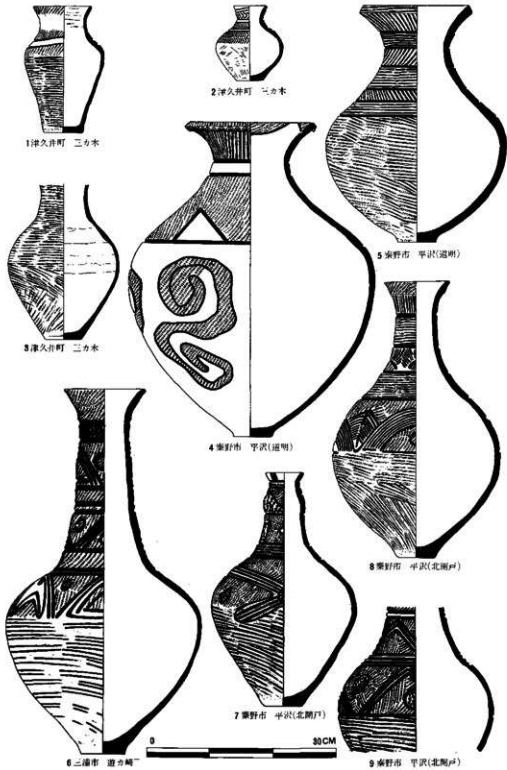
編集兼発行者

神奈川県立博物館

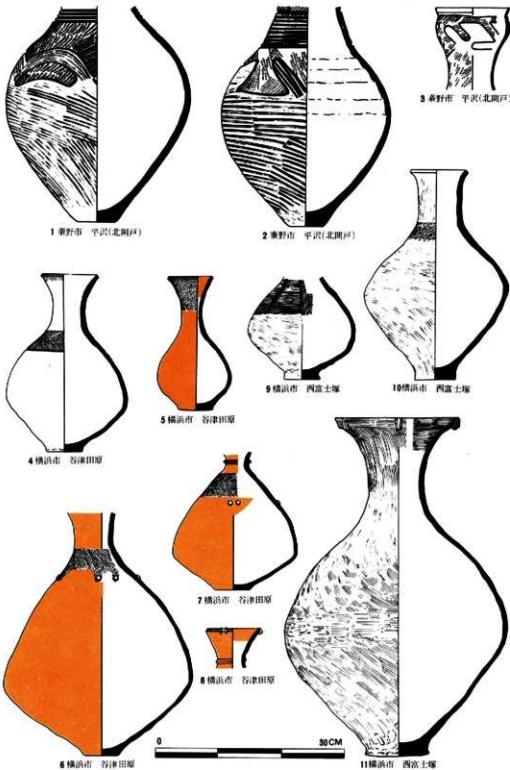
村田良策

横浜市中区南仲通5の60

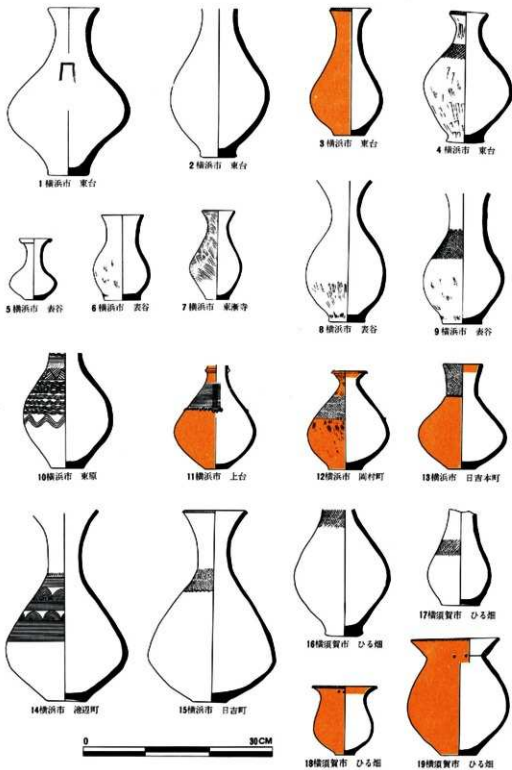
印刷所 (株)平井印刷所



1-3 Mikage (Tsukui town) 4・5 Hirasawa Dōmyō, 7-9 Hirasawa Kitakaido (Hirano city)
6 Yūgasaki (Miura city)



1~3 Hirasawa Kitakaido (Hadano city) 4~8 Yatsudahara, 9~11 Nishifujizuka
(Yokohama city)



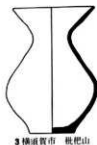
1~4 Higashidai, 5・6・8・9 Omoteyato, 7 Tozenji, 10 Higashi-hara
11 Kamidai, 12 Okamurachyō, 13 Hiyoshihonchyo, 14 Ikebechyo,
15 Hiyoshichyo, (Yokohama city) 16~19 Hirubatake (Yokosuka city)



1 横須賀市 北原



2 三浦市 三戸



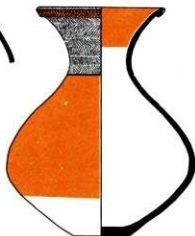
3 横須賀市 枇杷山



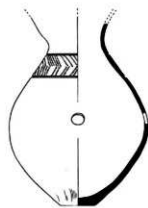
7 川崎市 影向寺



4 横須賀市 祝山



6 横須賀市 江戸山



8 川崎市 影向寺



5 横須賀市 天神山



9 横須賀市 ニツ造



10 横須賀市 ニツ造



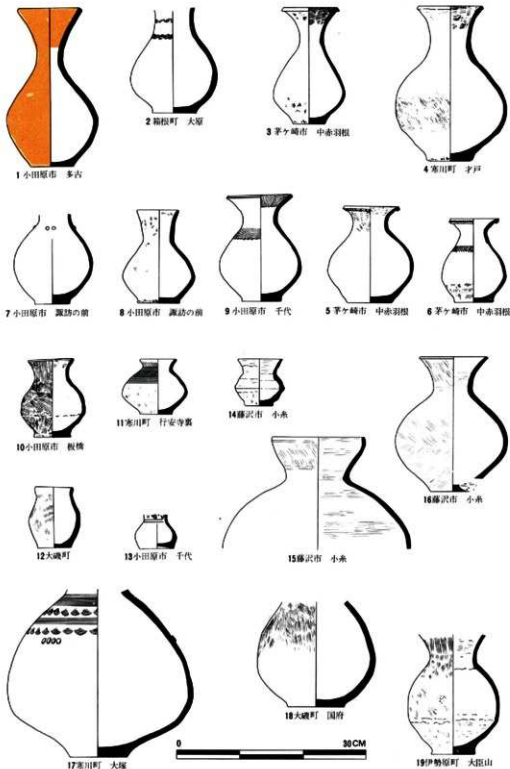
12 横須賀市 浦島ヶ丘



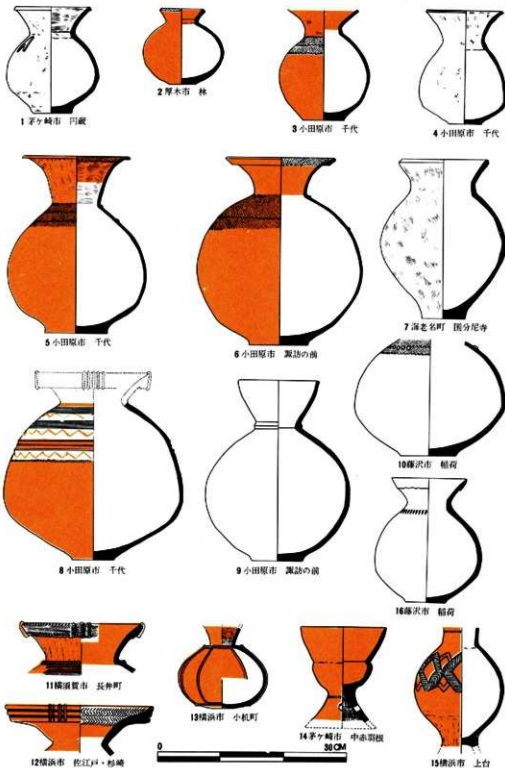
11 横須賀市 ニツ造



- 1 Kitahara, 3 Biwiyama (Yokosuka city) 2 Mito (Miura city) 7・8 Yōgōji (Kawasaki city)
4 Kajiyama, 5 Tenjinyama, 6 Edoyama, 9~11 Futatsuike, 12 Urashimagooka
(Yokohama city)



1 Tako, 7・8 Suwanomae, 9・13 Chiyō, 10 Itabashi (Odawara city) 2 Ōhara (Hakone town)
3・5・6 Nakaakabane (Chigasaki city) 4 Saidō, 11 Gyōanji, 17 Ōtsuka (Samukawa town)
12・18 Kokufu (Ōiso town) 14~16 Koito (Fujisawa city) 19 Daijinyama (Isehara town)



1 Enzō, 14 Nakaakabane (Chigasaki city) 2 Hayashi (Atsugi city) 3-5・8 Chiyo,
6・9 Suwanomae (Odawara city) 7 Kokubunji (Ebina town) 10・16 Inari (Fujiwara city)
12 Sugizaki, 13 Kozukuemachi, 15 Kamidai (Yokohama city) 11 Nagai (Yokosuka city)



1 横浜市 ニッ港



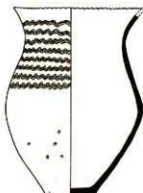
2 横浜市 ニッ港



3 三浦市 昆沙門



4 横浜市 ニッ港



5 川崎市 影向寺



6 川崎市 影向寺



7 横浜市 東台



8 横浜市 ニッ港



9 横浜市 ニッ港



10 大磯町 桜の馬場



13 横浜市 天神山



11 横浜市 つつじヶ丘



12 横浜市 ニッ港



13 横浜市 上台



14 鎌倉市 栗舟山



15 横浜市 表谷



16 横浜市 江戸山

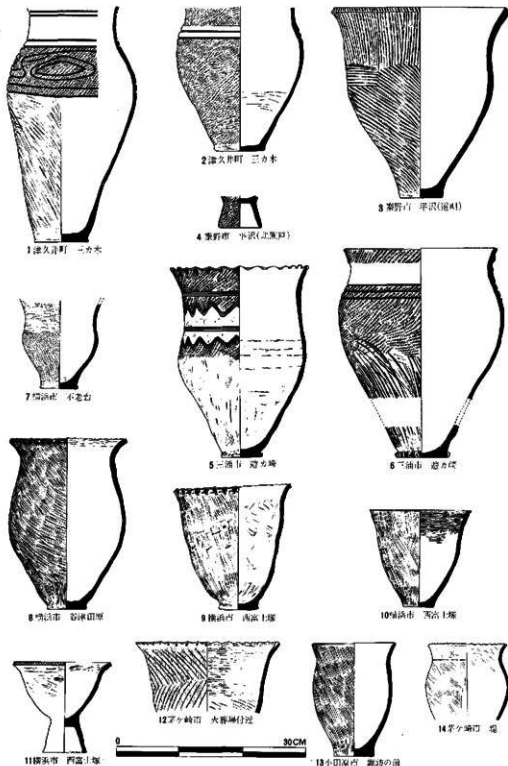


17 茅ヶ崎市 中赤羽根

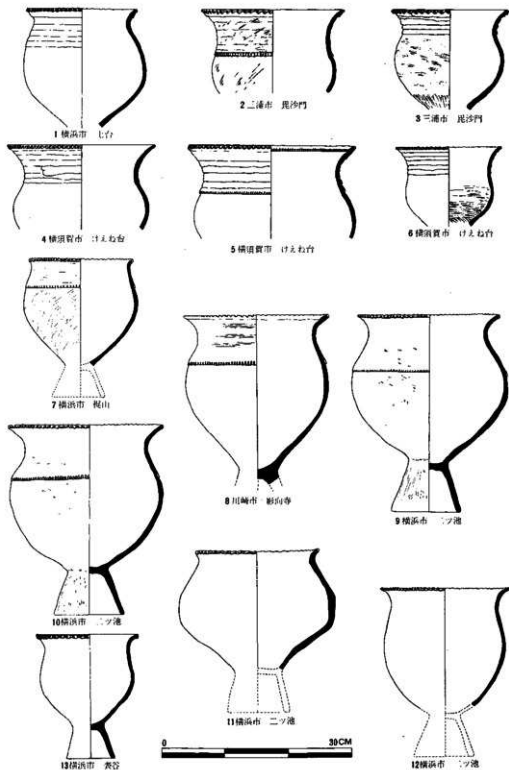


18 茅ヶ崎市 中赤羽根

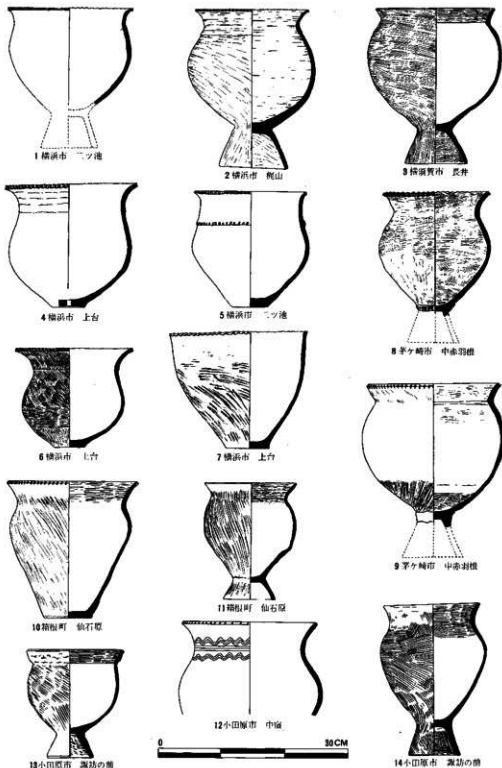
- 1・2・4・8・9・12 Futatsuike, 7 Higashidai, 11 Tsutsujigaoka, 13 Kamidai,
15 Omoteyato, 16 Edoyama, 19 Tenjinyama (Yokohama city) 14 Awafuneyama (Kamakura city)
3 Bisyamon (Mizra city) 5・6 Yōgoji (Kawasaki city) 10 Sakuranobaba (Ōiso town)
17・18 Nakaakabane (Chigasaki city)



1・ Mikage (Tsukui town) 3 Hirasawa Domyō, 4 Hirasawa Kitakaido (Hadano city)
5・6 Yūgasaki (Miura city) 7 Furūdai, 8 Yatsudahara, 9~11 Nishifujizuka
(Yokohama city) 12 Kasōba, 14 Tsutsumi (Chigasaki city) 13 Suwanomae (Odawara city)



1 Kamidai, 7 Kajiyama, 9~12 Futatsuike, 13 Omoteyato (Yokohama city)
2・3 Bisyamon (Miura city) 4~6 Kenedai (Yokosuka city) 8 Yōgōji (Kawasaki city)



1・5 Futatsuike, 2 Kajiya, 4・6・7 Kamidai (Yokohama city) 3 Nagai (Yokosuka city)
8・9 Nakaakabane (Chigasaki city) 10・11 Sengokubara (Hakone town) 12 Nakajyuku,
13・14 Suwanomae (Odawara city)



1 山北町 堂山



2 相模湖町 風坂



3 箱根町 仙石原



4 横浜市 西高士塚



5 小田原市 諏訪の館



6 横須賀市 長井町



7 横浜市 ニッ港



8 横浜市 ニッ港



9 横須賀市 鳥ヶ崎



10 横浜市 榎山



11 横浜市 ニッ港



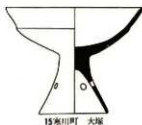
12 横浜市 ニッ港



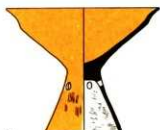
13 横浜市 浦島ヶ丘



14 鎌倉市 葉舟山



15 寒川町 大塚



16 小田原市 中里



17 寒川町 大塚



19 小田原市 千代



22 寒川町 大塚



20 寒川町 大塚



21 寒川町 丸山



18 茅ヶ崎町 下寺尾



23 横浜市 高島町



24 横浜市 松ヶ丘



25 横浜市 ニッ港

- 1 Dōyama (Yamakita town) 2 Nenzaka (Sagamiko town) 3 Sengokubara (Halone town) 4 Nishifujizuka, 7・8・11・12・25 Futatsuike, 10 Kajiyama, 13 Urashimagaoka, 23 Takashimadai, 24 Matsugaoka (Yokohama city) 5 Suwanomae, 16 Nakazato, 19 Chiyo (Odawara city) 6 Nagai, 9 Torigasaki (Yokosuka city) 14 Awafuneyama (Kamakura city) 15・17・20・22 Ōtsuka, 18 Shimoterao (Chigasaki city) 21 Maruyama (Samukawa town)



1 横浜市 上台



2C



2B

2 横須賀市 ひろ畑



2A



1 Kamidai (Yokohama city) 2 Hirubatake (Yokosuka city)